



# 西幼だより

羽島市立西部幼稚園  
令和6年1月17日 No. 17  
園長 安藤賢治

## <恐ろしいもの>地震・雷・火事・親父

■本当に「恐ろしい」それも、新年の初めに、こんなことが！  
起こるのですね。 ●●●自然の脅威に、なすすべもなく●●●

### ➤ 石川県能登半島を襲った地震 (1月1日 16:10 M7.6 最大震度7)

それにしても、無情すぎませんか？ (元日に…)  
羽島市でも、震度4 (私は、親せきと団らん中でした)  
恐怖を感じました。

- ・携帯の緊急アラームに驚き
- ・顔を見合わせ
- ・机にしがみつ
- ・揺れのおさまりを待ち
- ・(今回は) 外に出ました。

\*とっさの事  
「何もできな  
った」!!!  
➤これではダメ



この速報後、刻々と判明する甚大な被害状況  
・・・ひどすぎる。おどすぎる・・・

地震に対する教育は、地震のメカニズムから教える傾向がある。  
交通安全教育の様に、「命を守る=死なないこと」に重点を置くべきである。

◎これは、岐阜大学 特任准教授 村岡治道氏(本園『命を守る訓練④』の派遣指導者)の言葉です。

### 突然起きる“地震”・・・私たちが想定すべきは、「南海トラフ地震」(想定最大震度6強)

私：あれだけ建物が倒壊するのだから、今回のように、外に出るとするのが良いですか？  
村岡氏：輪島地方で倒壊した建物は、ものの数秒後。その判断、行動は非現実的です。  
私：でも、机の下にいたって、押しつぶされたら・・・(こたつにもぐって助かった人はいる)  
村岡氏：できることは限られています。いざという時にできることで、命を守るのです。

### <園舎内点検>

- ①危険箇所 (具体の事実…例：ガラスの飛散、転倒する棚 等)
- ②いざという時の行動(場所による違い…危険想定、逃げ出す 等)
- ③園児を守る(この環境下で、「命を守る行動を 知って訓練する」)

「意識高く」より、  
『効果を高く』

→ 昨日の【命を守る訓練】

指導者:村岡准教授

### <安全ゾーン(場所)>

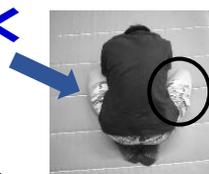
・マーク「うさぎさん」



・安全な場所を探しました。

### <揺れに強い“ダンゴムシポーズ”>

・ひざを開く



・ひざを開くと  
揺れても大丈夫でした。

～ご家庭でも～

・この機会に、「自分はどうするか?」・・・意識以上に、効果の検証をしてみましょう。  
<安全ゾーンの確認・大丈夫なダンゴムシポーズ> とっさに動く!